

◇編集後記◇

信州大学医学部で衛生学公衆衛生学を担当しております野見山哲生と申します。産業衛生学雑誌, JOH, 両誌の編集委員会で, 化学物質ばく露/中毒学 (Toxicology) のフィールドを担当しています。本日は改訂された両誌の投稿規程と投稿論文の統計に触れながら, 本誌の紹介をさせていただきます。編集規定は, 産業衛生学雑誌, JOH 共に昨年9月に改訂しました。主たる改訂は, 編集後記に何回も触れられている投稿6フィールドを明示したことです。また, 特に担当する化学物質ばく露/中毒学 (Toxicology) フィールドは, 対象を職域に限定せず, 一般環境を含む領域における化学物質に関する論文を対象とする, ことになりました。和文の投稿規定では職業, 職域等の文字を付さず化学物質に関するものとし, 英文では environment (環境) の文字を明記しました。本フィールドに投稿の可能性のある皆様にはご承知おき頂き, 投稿をご検討いただきますようお願いいたします。次に投稿論文に関する統計として投稿数, 採択率について紹介します。昨年1月1日から12月31日までの1年間に投稿された論文は, 産業衛生学雑誌36本, JOH 248本です。参考までに分野別の投稿数(ただし4~12月)を以下に示します。採択率は, 産業衛生学雑誌は概ね55%, JOHで概ね30%弱です。投稿数は, JOHはここ数年堅調に推移していますが, 産業衛生学雑誌はそれと比して少ないままです。私達の得意な日本語での投稿は, よりハードルも低いのではないかと思います。会員の皆様のご投稿を改めてお願い申し上げます。

領域別の投稿数 (2014年4月~12月)

	産業衛生学雑誌	JOH
Mental Health	3	43
Toxicology	7	33
Ergonomics	4	26
Occupational practice / occupational practitioner	8	29
Health promotion	3	21
Epidemiology	2	24
Total	27	176

次に投稿後の査読日数ですが, 最初の投稿から査読の返事が届くまで, 約40日です。この日数を可能な限り短くできるよう, 査読期間の実態を編集委員にフィードバックし, 査読期間を延ばす要因を潰しながら, 着々と短縮しています。そして, 査読を終え受理された論文は, 全文J-Stageで早期公開され, JOHでは書誌体の出版前にPubMedにも反映されます。紙媒体の無いオープンアクセスジャーナルと同様に査読期間が短く, 早期公開, pdfも得られます。更にオープンアクセスジャーナルと比し, 紙媒体が入手でき, 投稿料も無料, であるという, 大きな利点もあります。産業衛生学雑誌, JOHは時代の変化に対応し, 間違いなく進化しています。両誌は学会員である皆さんの雑誌です。改めて会員諸氏の本誌への投稿をお願いします。

(野見山哲生)

「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長: 堤 明純 (北里大)

副委員長: 柴田英治 (愛知医大)

編集委員: 市原 学 (東京理科大), 梅津美香 (岐阜県立看護大), 榎原 毅 (名古屋市立大), 大神 明 (産業医大), 大塚泰正 (広島大), 影山隆之 (大分看護大), 小島原典子 (東京女子医大), 掛本知里 (東京有明医療大), 上島通浩 (名古屋市立大), 萱場一則 (埼玉大), 車谷典男 (奈良医大), 近藤尚己 (東京大), 榎原久孝 (名古屋大), 佐々木美奈子 (東京医療保健大), 島津明人 (東京大), 須賀万智 (東京慈恵医大), 杉森裕樹 (大東文化大), 諏訪園靖 (千葉大), 高尾総司 (岡山大), 田中 茂 (十文字学園女子大), 玉腰暁子 (北海道大), 中田光紀 (産業医大), 中村裕之 (金沢大), 錦戸典子 (東海大), 西田和子 (久留米大), 野見山哲生 (信州大), 原田浩二 (京都大), 平工雄介 (三重大), 廣 尚典 (産業医大), 藤野善久 (産業医大), 堀口兵剛 (北里大), 三宅達郎 (京都市保健福祉局), 毛利一平 (ひらの亀戸ひまわり診療所), 森岡郁晴 (和歌山医大), 森河裕子 (金沢医大), 森田 学 (岡山大), 大和 浩 (産業医大)

客員編集委員: 田中紀子 (国立国際医療研究センター), 八幡勝也 (産業医大)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番